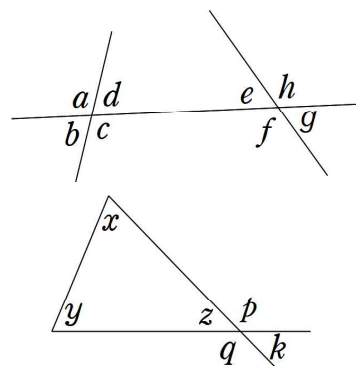


4 B問題(活用)に対応するための練習問題

()年()組()番 名前()

1 次の()にあてはまる言葉を、下の【語群】から1つずつ選び、書きいれなさい。

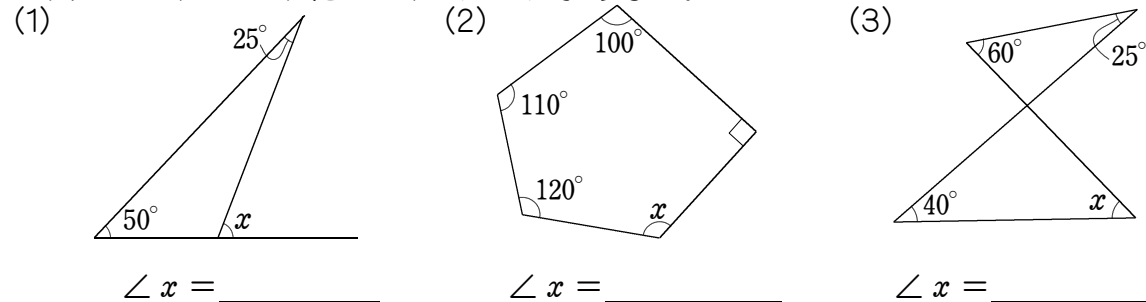
- (1) 右の図で、 $\angle a$ と $\angle c$ の位置関係を()角という。
- (2) 右の図で、 $\angle b$ と $\angle f$ の位置関係を()角という。
- (3) 右の図で、 $\angle d$ の錯角は、 \angle ()である。
- (4) 右の図の $\angle z$ の外角は、 $\angle p$ と \angle ()である。
- (5) 三角形の1つの外角は、その()2つの内角の和に等しい。
- (6) 多角形の外角の和は、()度である。



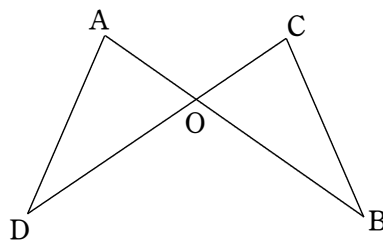
【語群】

対頂 錯 同位 となりにある となりにない 180 360
 a b c d e f g h x y z q k

2 次の図で、 $\angle x$ の大きさを、それぞれ求めなさい。



3 右の図で、長さの等しい2つの線分 AB、CD が、点 O で交わっています。このとき $AO = CO$ 、 $DO = BO$ ならば、 $AD = CB$ となります。このとき、次の問いに答えなさい。



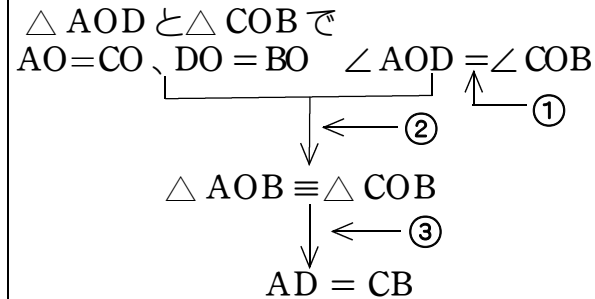
(1) 仮定と結論を答えなさい。

仮定... _____ 結論... _____

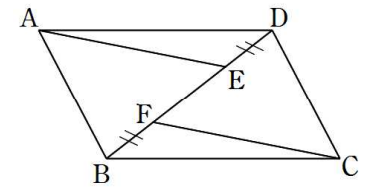
(2) 証明のすじ道は、右の図のようになる。
 ①~③にあてはまる根拠となることから、次の⑦~⑨から選びなさい。

- ⑦ 三角形の合同条件
- ⑧ 合同な図形の性質
- ⑨ 対頂角の性質

答え ① _____ ② _____ ③ _____



4 右の図のように、 $\square ABCD$ の対角線 BD 上に、 $DE = BF$ となるような点 E、F をとる。A と E、C と F をそれぞれ結び、三角形をつくったとき、 $AE = CF$ となることを次のように証明した。

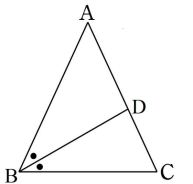


□ にあてはまるものを書き入れ、証明を完成させなさい。

【証明】

$\triangle AED$ と \triangle □ で、 $AD =$ □③
 仮定より、 $DE =$ □①
 平行四辺形だから、 $AD \parallel BC$ により、
 平行線の □ 角は等しいので
 $\angle ADE = \angle$ □②
 また、平行四辺形の向かい合う2組の
 □ は等しいので、
 ①、②、③から、
 □ が
 それぞれ等しいので、
 $\triangle AED \equiv \triangle$ □
 合同な図形では、対応する辺の長さは等しいので、 $AE =$ □

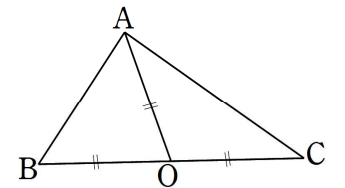
5 右の図のような $AB = AC$ の二等辺三角形がある。また、底角 $\angle B$ の二等分線が辺 AC と交わる点を D とする。頂角 $\angle A = 36^\circ$ とするとき、 $\triangle BCD$ はどのような三角形になるか 次のように説明した。□ にあてはまるものを書き入れなさい。



【説明】

$\triangle ABC$ は、 $\angle A$ を頂角とする二等辺三角形だから、
 $\angle ABC$ の大きさは、 $(180 - 36) \div$ □ より、□ 度と分かる。
 さらに、 \cdot の大きさは、その2等分だから、□ 度となる。
 また、 $\angle C = \angle B =$ □ 度、 $\triangle BCD$ の内角の和が 180° であることから
 \angle □ も □ 度と分かる。
 よって、 $\triangle BCD$ の形は、□ である。

6 右の図は、線分 BC の中点を O とし、 $AO = BO = CO$ となるように、点 A を決め、各頂点を結んだものである。このとき、次の問いに答えなさい。



(1) $\angle B = 70^\circ$ のとき、 $\triangle ABC$ における $\angle A$ の大きさを答えなさい。

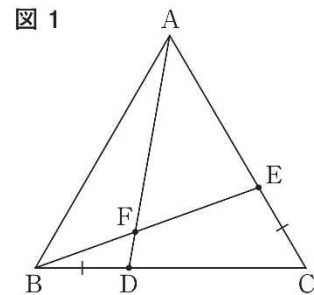
答え _____

(2) $\triangle ABO$ が正三角形になるようにするとき、 $\triangle ABC$ における $\angle A$ の大きさは、(1)にくらべてどのようになるか。(大きくなる、小さくなる、変わらない)の中から1つ選びなさい。

答え _____

4 B 問題

4 下の図1のように、正三角形ABCの辺BC, CA上にBD = CEとなる点D, Eをそれぞれとります。また、線分ADと線分BEの交点をFとします。ただし、点Dは点B, Cと、点Eは点C, Aと重ならないものとします。



練習問題4の 3
4
と関連があるよ!

次の(1)から(3)までの各問いに答えなさい。

- (1) 図1において $\triangle ABD \cong \triangle BCE$ を示し、それをもとにして、 $\angle BAD = \angle CBE$ であることが証明できます。 $\angle BAD = \angle CBE$ となることの証明を完成しなさい。

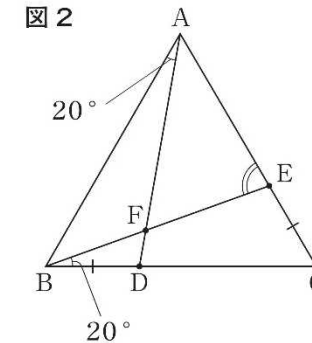
証明

$\triangle ABD$ と $\triangle BCE$ において、

合同な図形の対応する角は等しいから、
 $\angle BAD = \angle CBE$

()年()組()番 名前()

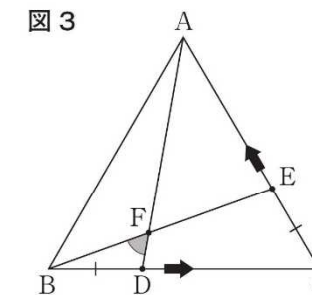
- (2) 次の図2のように、図1の $\angle BAD$ と $\angle CBE$ を 20° とします。このとき、 $\angle BEA$ の大きさを求めなさい。



練習問題4の 2
5
と関連があるよ!

答え _____

- (3) 前ページの図1において、 $\angle BAD = \angle CBE$ が成り立ちます。次の図3のように、図1の点Dは辺BC上を点Cの方向に、点Eは辺CA上を点Aの方向に、 $BD = CE$ の関係を保ったまま動きます。このとき、 $\angle BFD$ の大きさについて正しく述べているものを、下のアからエまでの中から1つ選びなさい。



練習問題4の 6
と関連があるよ!

- ア $\angle BFD$ の大きさは、小さくなっていく。
- イ $\angle BFD$ の大きさは、大きくなっていく。
- ウ $\angle BFD$ の大きさは、変わらない。
- エ $\angle BFD$ の大きさは、問題の条件だけでは決まらない。

答え _____